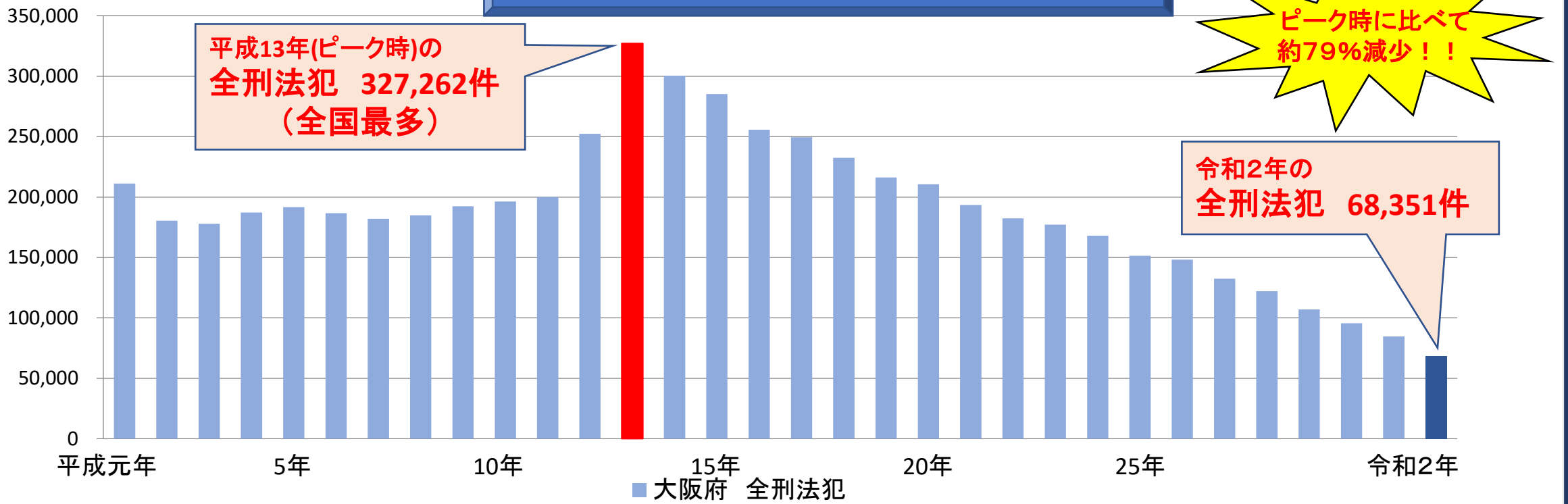


大阪府の犯罪は着実に減少しています！！

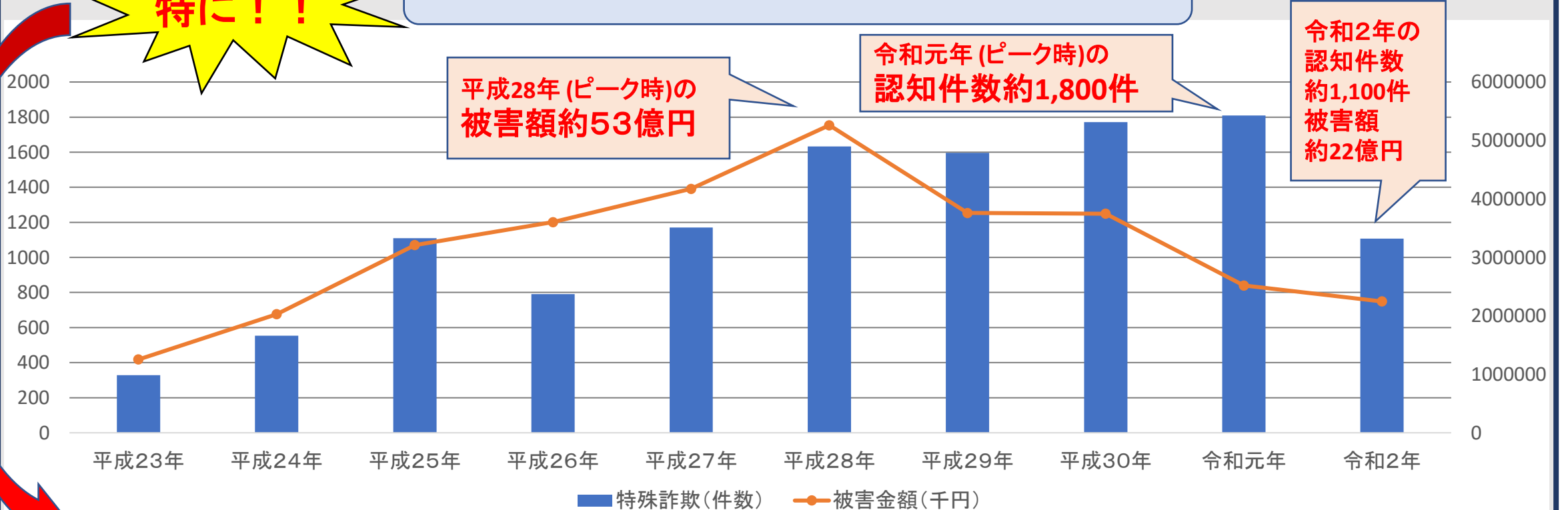
大阪府における刑法犯認知件数の推移



府内の刑法犯認知件数は、平成13年をピークに年々減少していて、令和2年にはピーク時に比べて約79%も減少しました。これは、平成14年に大阪府安全なまちづくり条例の制定の他、警察の強力な取り締まりと、行政、事業者、防犯ボランティア等が一体となった地道な防犯活動や防犯カメラの設置拡大等による大きな成果で、今後も継続が必要です。

特に！！

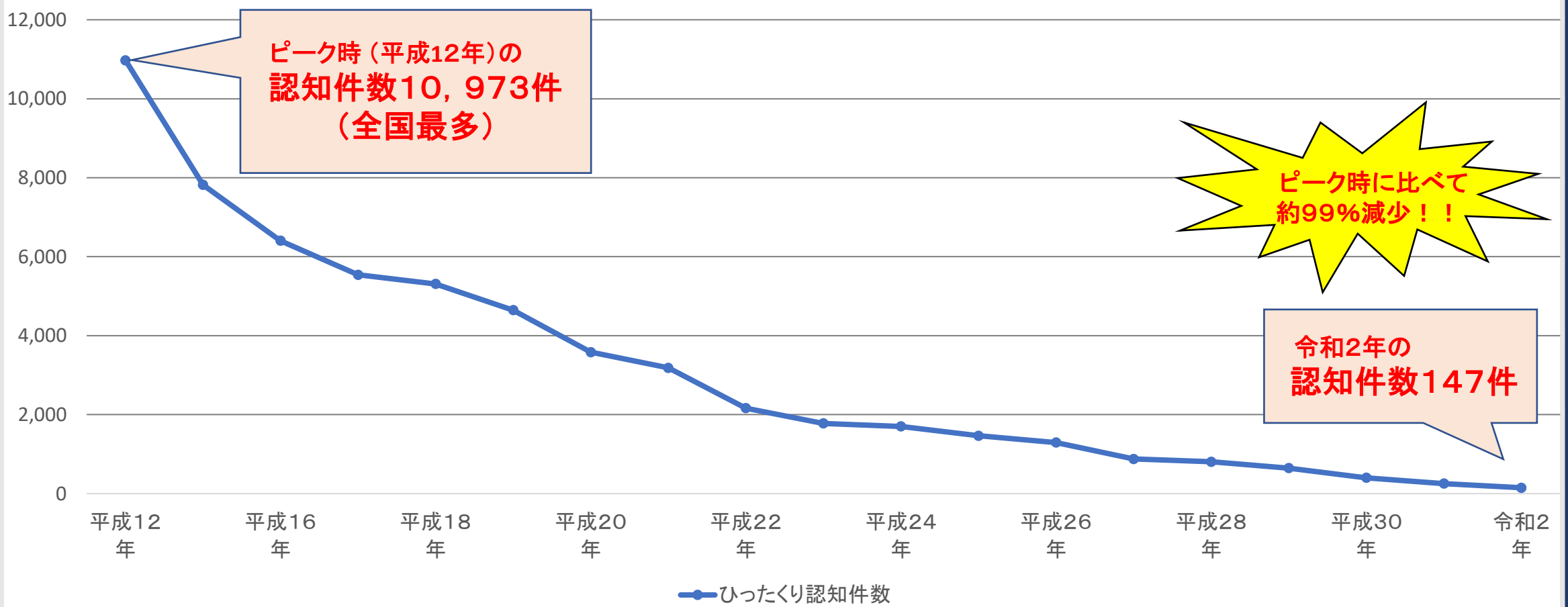
特殊詐欺の認知件数・被害金額の推移



大阪府内の特殊詐欺の認知件数及び被害金額は、依然として高い水準で推移しており、子供や女性を狙った犯罪や、車上ねらい等の自動車関連犯罪も多発する等、大阪の治安は予断を許さない状況が続いています。



大阪府内のひったくり認知件数の推移



平成12年当時、大阪名物と揶揄され多発していた犯罪が「ひったくり」でした。

高齢者や女性が多く狙われ、大切な物を無理矢理奪われるだけでなく、転倒して大けがを負う可能性もある非常に危険な犯罪でした。

当時から現在に至るまで、警察の強力な取り締まりをはじめ、行政、企業、各種団体、防犯ボランティア等が一体となり、「ひったくり防止カバーの取付キャンペーン」や、「道路と反対側に鞆を持つ事を訴える活動」等地道な活動を続けた結果、令和2年末現在、ひったくりの発生件数はピーク時に比べて約99%も減少させることが出来ました。

現在多発している特殊詐欺も、当時のひったくりと同様、特効薬というものはありませんが、警察、行政、防犯ボランティア等が一体となり、継続した地道な活動を行うことが、近い将来特殊詐欺被害の減少に繋がると確信しています。

これからも府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の実現のために、一致団結して地道な防犯活動を継続していきましょう。